



「心に伝わる“キレイ”を追求する」

(株) 浄美社

「キレイ」に真剣です！



ビルや工場、病院などの施設メンテナンス・維持管理を手がける(株)浄美社(代表滋野好史氏)。地元の建物総合管理会社としてはトップクラスの業容を誇り、メンテナンスに付随する環境整備、設備の保安管理業務、給排水管理業務などを行っている。近年は、ホスピタルメンテナンスにおいて院内感染対策に基づいた清掃方法を産学共同で進めるなど、品質向上には余念がない。その同社が、キレイの追求を全社員で考え、行動するプロジェクトをスタートしている。

—— ビル・工場・病院メンテナンスで実績

1955年4月にビルメンテナンス業として創業した。主力のビルメンテナンスでは、豊富な技術メニューを組み合わせた効率の良い環境管理を推進しており、管理コストの削減にとどまらず、施設・設備の省エネ対策まで踏み込んだ提案を行っている。

ファクトリーメンテナンスでは、不具合や汚れなど現場状況の正確な診断を行ったうえで、ユーザーの立場に立った迅速で的確な提案を行っている。また、2005年3月から「リコンディショニングサービス」をスタート。専用車両が工場を訪れ、廃油・廃液を「荷電膜式リコンディショニング装置」で浄化処理することで、設備を稼働したまま浄化できるのが特徴だ。

近年実績を伸ばしているのがホスピタルメンテナンス事業。90の病院の管理実績で得たノウハウを活かし、エンドユーザーである患者さまの安全安心を第一に配慮したうえで、病院側にも満足してもらえるよう清掃・衛生管理を行っている。

—— 意識・情報の共有を重視

提供するサービスの本質を見直そうと、「キレイに真剣です！」を品質方針として『キレイプロジェクト』を進めている。

サービスの担い手は現場のスタッフであり、スキル、意欲、考え方、言動などがバラバラでは、お客さまに現場スタッフの意識の高さや、モチベーションが伝わりにくい。全社員が同じ方向を向くことができるようにと、本社の考えを発信するとともに、滋野社長自身が現場に足を運び、お客さまに心地良いと感じていただくため、自発的にどのような行動をとるべきかを考える気づきをサポートするとともに、月に一度、複数の現場スタッフが本社に集まり「現場パワーアップミーティング」を行っている。さらに、コミュニケーションを通じて現場が持っているノウハウやさまざまな工夫を吸い上げ、2カ月に1回発行している「JOBISHA News」に掲載して情報を共有している。

「清掃の仕事は通り一遍のマニュアルでこなせるものではありません。お客さまに喜んでいただくという工夫や心意気が重要です。」と社長は強調する。



現場パワーアップミーティング

—— “キレイ”を共に考える

例えば、現場スタッフがきれいにした場所を使用者が汚してしまい、それがクレームにつながるケースも少なくない。「キレイ」を真剣に考えるほど一方向のサービス提供では難しく、お客さまと一緒に考えてもらおうという取り組みを行っている。ビルメンテナンス企業にとってキレイにすることは当たり前。さらに一歩進んで、お客さまと現場スタッフがコミュニケーションを通じて「もっとキレイに」という気持ちを共有することで、環境を良くする相乗効果が生まれる。空調、電気設備、安全、気持ち、人間関係などを含めて「キレイ」の品質を高める発端になればという思いを大切にしている。「この業界では、ある企業を特定させるだけの技術や機械があるわけではありません。弊社の特化すべきは人材です。現場の人です。個々人それぞれスキルの差はありますが、その人の人間性、コミュニケーション力が弊社の財産です」と、「キレイ創造企業」の原動力を語る。

会社概要

事業内容：総合建物管理
 所在地：京都市右京区太秦川所町7-100
 資本金：9,000万円
 創業：1955年(昭和30年)4月
 設立：1966年(昭和41年)1月
 従業員：1,150人(パート含む)
 (URL) www.jobisha.co.jp/
 TDB企業コード：50-003541-1